



院長
伊藤 真理子
プロフィール

真理子先生の

女性のきかた

LEP製剤って?④

●(いとう・まりこ)1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

月経困難症の治療薬「LEP製剤」の副作用についてのお話です。

怖い副作用の血栓症

副作用として最も怖いのは血栓症で、LEP製剤に含まれる女性ホルモン「エストロゲン」は血液を固まりやすくする作用があるとされます。

実際、厚生労働省は2014年、10年11月に発売されたLEP製剤で3人が副作用とみられる血栓症で死亡したと発表しています。

処方ガイドライン

頻度は低いとはいえ、

こうしたリスクを念頭に置いておくことは医師にも患者にも大切なこと。こうしたことから、LEP製剤を処方する際には細かなガイドラインが決められています(表1)

(表1) LEP/OC内服禁忌の方

| | | | |
|-------|-------------------------|------|---|
| 年齢 | 初経発来前、50歳以上または閉経後 | 手術等 | 手術前4週間以内、術後2週以内、および今期間安静状態 |
| 喫煙 | 35歳以上で1日15本以上 | 心疾患 | 重い心臓弁膜症や心臓弁膜症 |
| 高血圧 | 重症の高血圧症 | 肝臓 | 重篤な肝障害、肝腫瘍 |
| 糖尿病 | 血管病変を伴う糖尿病 | 乳癌疾患 | 乳癌 |
| 妊娠・出産 | 妊娠または妊娠している、授乳中・産後4週間以内 | 血栓症 | 血栓性素因、深部静脈血栓症、血栓性静脈炎、肺塞栓症、脳血管障害、冠動脈疾患またはその既往歴 |
| 片頭痛 | 前兆(閃輝暗点、星型閃光等)を伴う片頭痛 | | |

リスクが高い人

最初の診察ではチェックシートに記入してもらい、さらに詳しくお話を伺います。定期的チェック及び血液検査なども欠かせません。

副作用のリスクを高める要因として肥満、高血圧、加齢、喫煙などがあります。ただボディマスインデックス(BMI)30以上の人は要注意ですが、ダイエットを先にすれば大丈夫。血圧が160/100と高めの人も降圧薬剤で治療しながらの服用はOK。35歳以上の人で1日15本以上の喫煙者でも

禁煙すれば処方を受けられます。

念には念を入れて

手術前後は特別血栓症が起きやすく、内服は禁忌です。長時間のフライトなどの際は、弾性ストッキングをはいたり禁酒及び脱水にならないなど細心の注意が必要です。それでも服用中に以下のようなサインが出たら用心が必要です。(表2) 初経から閉経まで内服できます。

(表2)

| | |
|----|--------------------|
| 手足 | 足の突然の痛み・むくみ、脱力・まひ |
| 胸 | 突然の息切れ、押しつぶされる様な痛み |
| 頭 | 激しい頭痛 |
| 口 | 舌のもつれ、しゃべりにくい |
| 目 | 突然の視力障害 |